

畑でオクラを育てる ① 苗植え・水やり

3歳児クラス 16名 30分

活動

発芽した苗を植え替え・水やり

○活動内容

発芽した苗の植え替え、実際に苗の水やりを行う

準備したもの

ジョーロ、子ども用シャベル、バケツ
発芽したオクラの苗、朝顔の種、図鑑、
プランター、畑

○保育者の問いかけやアプローチ、子どもの姿

- ・畑ができた後で土に触れられる活動を取り入れ畑への興味を持てるようにしていった。
- ・「どんな感じ？」と触り心地を聞いてみると「ふわふわ」「水が入ると固まる」と土の感触を言葉にしていた。たくさんの幼虫や虫が見つかりいつの間にか虫探しや石遊びに発展してしまう姿が見られた。水やりでは水をあげて育つことを喜んでいて、暑さで戸外に出られない日が多く、毎日数人ずつしか水やりに行くことができずにいたが、水やりに行った子がクラスに報告する子もいた。

○振り返り

初めて畑を使って野菜を育てられる環境になり、子どもたちも保育者も楽しみに活動に取り組むことができた。図鑑を使いどの野菜が夏野菜なのかを調べる子、保護者に聞きグループタイムで伝える子もいた。発芽したオクラの苗は他クラスが苗で育てたものよりも成長スピードがゆっくりだったこともあり、中々大きくならなかった。園庭で育てたアサガオは日当たりも良く成長が目に見えて早かったこともあり、今日は葉っぱが増えていた、ツルが伸びていた等グループタイムで教え合う姿が見られた。



畑でオクラを育てる ②失敗からの学び

3歳児クラス 16名 30分

活動

- ・夏野菜調べ 種の発芽、苗植え

○活動内容

昨年収穫したオクラから種を栽培し、買った物の違いに触れる

○保育者の問いかけやアプローチ

- ・実際に去年収穫した野菜や花から種を取り、図鑑で調べることを同時に進行し自分たちで育てたい物を決めていった。
- ・電子黒板を使用して、みんなで気づいたことなどを共有する時間を設けた。

○子どもの様子

種の形や色、大きさの違いに気付く子が多くいる。

種から発芽させる工程を図鑑で調べる。畑に種を植えるのではなく、発芽させてから植え替えることに不思議そうにしている様子が見られる。夏の暑さで種まきの後の継続的な観察に関心が続かないようだった。

準備したもの

種（オクラ、朝顔、大豆）



○振り返り

種から育てた事もあり、芽を出すまでに時間がかかってしまい、子どもたちの関心がそがれたところがあった。また、どの子も水やりをしたくて1日に何度も水やりをしてしまい、種がかびてしまったことも、保育者が想像していないことだったので、子どもたちとどうしてこうなってしまったのかな?と考える機会となった。

また、日当たりの良い所に出すことを数日忘れてしまったことで、去年育てたものは全て使用できなくなってしまった。植物を育てることの難しさに保育者自身が直面した体験だった。子どもの気づきが出てこなかった際は、早い段階で図鑑だけでなくiPadなどを使用し分かりやすく育て方を調べられるようにするなどし、関心が継続できるように環境を作る必要があったと思った。

かびてしまって発芽させられなかったことも含め、上手くいかないことが多く、失敗したことからの学びととらえ、それが次の教訓になると良いと思う。

畑でオクラを育てる ③収穫・巨大オクラとの遭遇

3歳児クラス 16名30分

活動

収穫と収穫した野菜で表現活動

○活動内容

収穫と気づき

表現（スタンプ遊び）

食べてみよう

準備したもの

絵の具・画用紙・虫メガネ

包丁、まな板

○保育者の問いかけやアプローチ、子どもの姿

畑で育てていたオクラが、収穫期に週末をはさんでしまったことから子どもたちの想像を超えてオクラが成長した様子に「うわー！顔よりも大きい、おばけオクラ」と言って驚き、興奮しながら、友だち同士で見せ合う姿があった。

「いつものオクラと何が違うかな？中身はどうなっているんだろうね？」と子どもたちの関心を深める問いかけを行なった。子どもたちは、「いつもよりトゲトゲが痛い」「カチカチで固くて折れないね」と、サイズだけではなく形の変化に気づいているようだった。保育者が切ってみると、子どもたちから固くて切るのが大変！でも、中はいつもと同じ形だね、という声が上がった。更に中の種を出してみると茶色のものがあり、植えた時も茶色のものがあったと思いだしている子がいた。「固くて食べられないなら、タンプしてみよう」というアイデアがうまれ絵具を付けてダイナミックに押して遊んだ。

また少量だったが食べられるくらいの大きさのオクラを収穫し給食室で調理してもらった。自分たちで育てたものだからと「苦手だけど食べてみようかな」という姿が見られた。

○振り返り

成長しすぎるというハプニングが子どもたちにとっては植物の成長の早さや

育ちすぎると固くなる、種ができるなどという自然の現象に気づき、学びの多い経験となった。

食べられなくてもスタンプ遊びなど自分たちで次の楽しみ方を見つけられたこともいい経験となった。

オクラを食べることが苦手な子も、自分の育てたものだから食べてみようとする姿も見られ、オクラを通して食に関わることの大切さを改めて感じた。

